

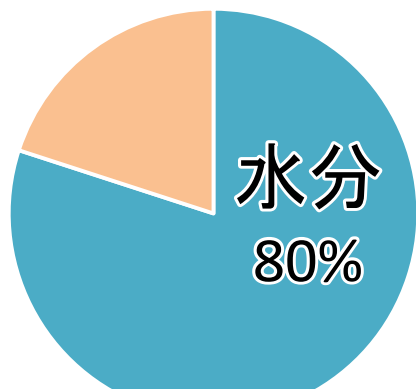
**ダンボールコンポストと
市民菜園の普及による
ごみ減量**

**うべ環境コミュニティー
浦川 佳樹
(新谷 弘昌・浮田正夫)**

生ごみの現状

➤ 家庭からの生ごみの年間排出量・・・ 約820万トン

生ごみの成分



デメリット

- ✓ ごみ焼却場の燃焼効率の低下
- ✓ ごみ袋が重くなる
- ✓ 生ごみからのいやな臭い

資源化処理

約55万トン

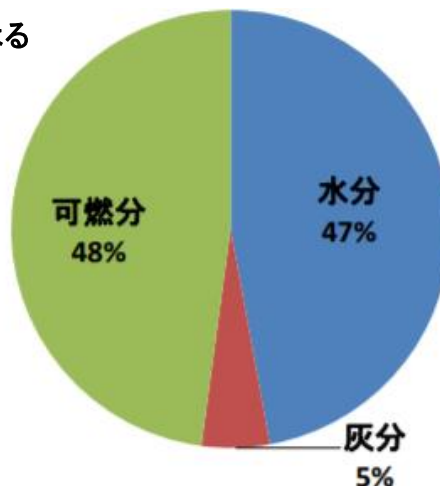
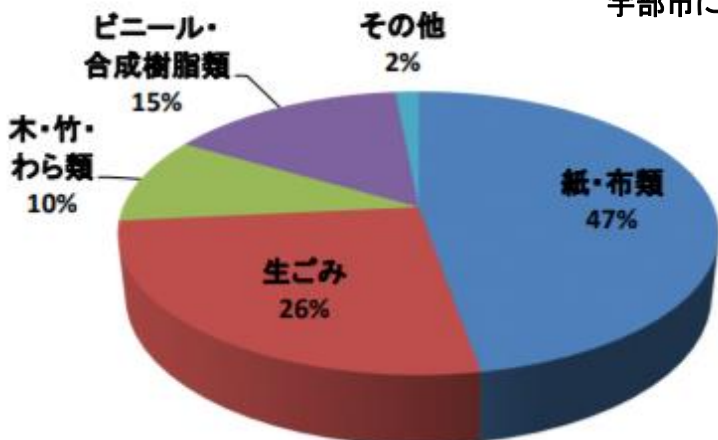


<https://www.higashikagawa.jp/itwinfo/i9760/>

だいたい、0.2 kg／人／日の生ごみが出る。

可燃ごみの組成 (H30年度)

宇部市による



ダンボールコンポストの現状

方法

1. 基材をよくかき混ぜ、真ん中に穴を掘る。
2. 掘った穴に生ごみを(1日500g)まで投入し、上から基材をかぶせる。
3. ダンボール箱に虫よけカバーをかぶせ、雨の当たらない場所に置く。あとは1~3の作業を繰り返す。



引用: <https://www.city.nishiwaki.lg.jp/lifescenemokutekibetsudesagasu/gomircycle/1498531616293.html>

メリット

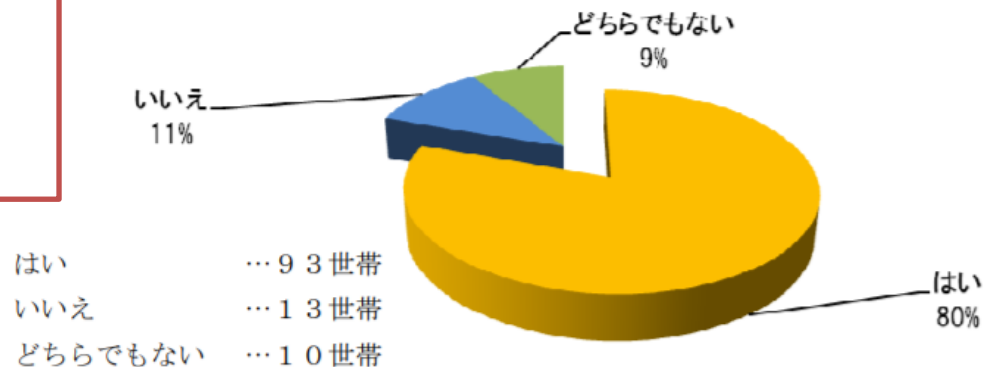
- ✓ 3ヶ月で約30kgの生ごみを減少
- ✓ 出来た堆肥を有効活用
- ✓ 土壌の保全

課題

- ✓ 使用できる場所が少ない

平成22年度のダンボールコンポストモニター

今後も「段ボール箱を使った生ごみの堆肥化」をしてみたいですか。



http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/gomi/genryou_recycle/compost/about.html



土地に余裕のない場合は
水俣市で好評の「キエーロ」
を用いる方法もある。

木製の蓋付きの箱の中に土が入っているだけで、1, 2日に一度生ごみを入れ、園芸用のミニスコップで、土と混ぜるだけ。
土の入れ替えもなく、5年以上はそのまま使えるとのこと。非常に簡単で、魚もOK、臭いもなく、腰をかがめなくてもいいので高齢者にも楽ということ



西ヶ丘自治会の取組

- 3ヶ月1回程度段ボールコンポスト実施者実施希望者が集まり勉強会
廃棄物対策課による出前講座より市の取り組みの説明

参加者の苦労話が聞ける

環境意識が高まり 地域が活性化する

ごみ減量効果 段ボールコンポストの1年の生ごみの処理
 $30\text{kg} \times 4\text{回} = 120\text{kg}$
段ボールコンポスト参加者 15世帯 ÷ 350世帯
=4.2%
 $0.12\text{ t} \times 15\text{世帯} = 1.8\text{ t}$
ごみ収集車積載量2t **1台分の減量になる**
(わずかであるが)

もし 段ボールコンポストを宇部市の4.2%の世帯で実施したら
年間 $3360\text{世帯} \times 0.12\text{kg} = 403\text{ t}$
ごみ収集車 **200台**分の減量が期待できる

西宇部校区の市民菜園

西宇部小学校

西宇部ふれあいセンター

西ヶ丘自治会館

A

C

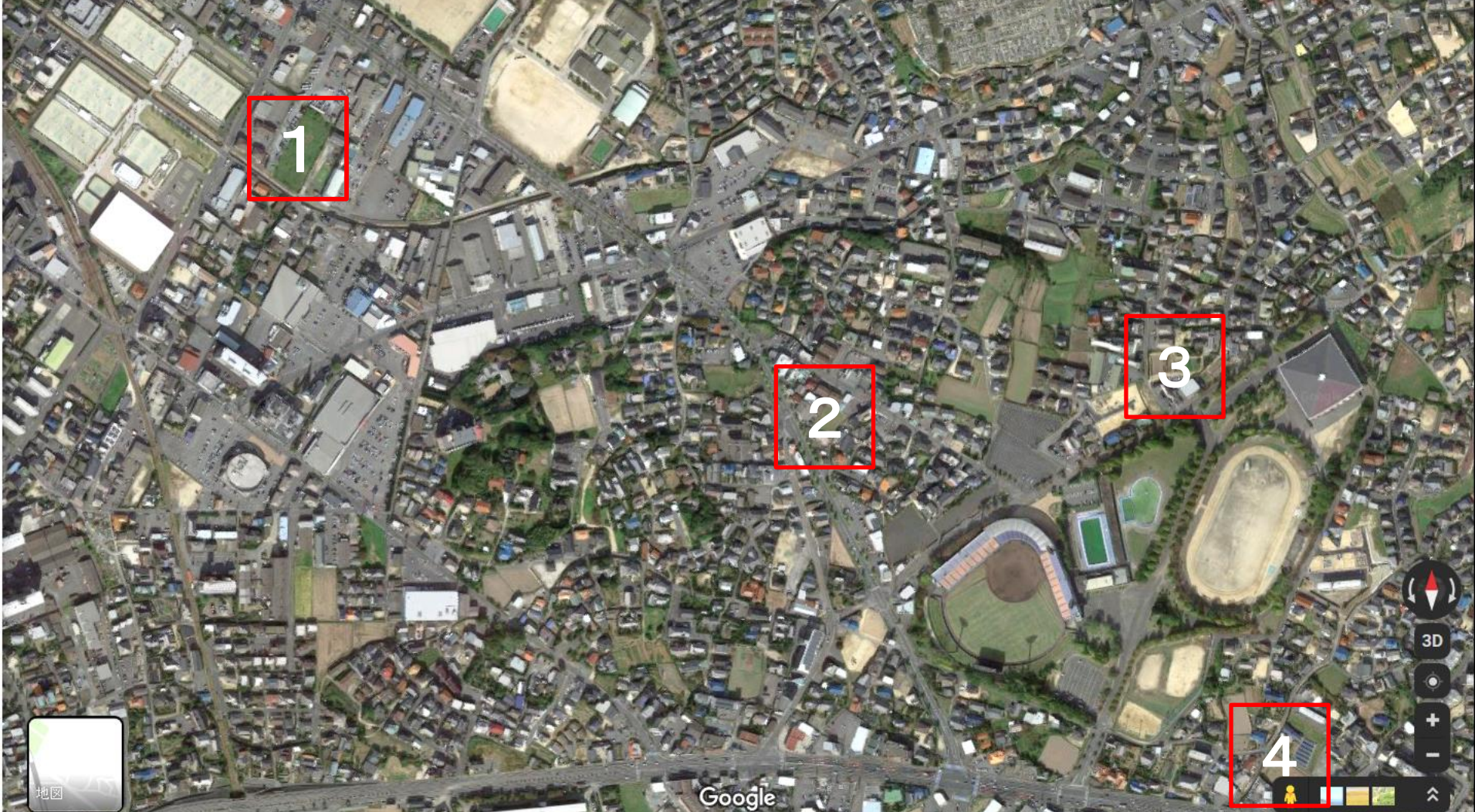
D

B

B,C,D: 候補地例

Google

恩田・神原校区の取組



1

2

3

4

1

神原コミュニティ菜園



3



好生園横みかん園



2

恩田おひさま
クラブ
ふれあい農園



同クラブ
FBより



4



野原自治会タマネギ畑



軽費老人ホームのバザーへの出店

以上の方法をより強力に実施する方法として

宇部市環境衛生連合会と連携して、
各校区で段ボールコンポスト等の普及を図る。
西ヶ丘方式の座談会を普及させる。
段ボールコンポストの利用先として、遊休農地や、
遊休地等を市民菜園として活用する動きを活発にする。
恩田・神原校区のとくに若い世代の参加の動きを学ぶ

ごみ減量推進協議会を立ち上げる
「ごみ減量サポーター」の養成講座開催
(健康アンバサダーがあるが市民の中からサポーターを募る)
各校区ごとで定期的に「会議」を開催

なども考えられる

まとめ

- ✓ダンボールコンポストやキューロ等により生ごみの土壌還元の普及を図り、効果的なごみ減量を実現する。
- ✓できたコンポストを市民菜園等で利用して、おいしい野菜などを栽培する。
- ✓市民菜園の活動により、身近なみどりが確保され、コミュニティの活性化が期待できる。
- ✓土壌の保全や、ひいては沿岸の生産性にも寄与する可能性がある。

ご清聴ありがとうございました

以上の方法をより強力に実施する方法として

ゴミ減量推進協議会を立ち上げる

「ゴミ減量サポーター」の養成講座開催
(健康アンバサダーがあるが市民の中からサポーターを募る)

各校区ごとに定期的に「会議」を開催

宇部市環境衛生連合会と連携

市民の募集とは別に

各校区より「ゴミ減量サポーター」推薦してもらう

定期的な「会議」に参加